

# クラッシー

## CLASSY

ワンランク上の暮らしを考える人の情報紙

デジタルシティやめ

検索



# 1 JAN

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター  
 企画 イースタンコミュニケーションズ  
 印刷 株式会社 東兄弟 TEL 0943-24-2111  
 八女市祈禱院563 〒834-0025  
 HP:www.dcity-yame.com  
 E-mail higashiitei@tea.ocn.ne.jp

	日	月	火	水	木	金	土
							1
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
	<b>初売りは4日(土)</b> 10:00~ 青年部による玄米餅つきの実演販売 甘酒の振る舞い 年始も元気に営業しております。 御年賀の地方発送も承っております。 12月31日~1月3日 年末年始店休日 <b>道の駅 たちばな</b>		<b>1</b> 元日	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b> 鬼の修正会 16:00~(筑後市熊野神社)
<b>5</b>	<b>6</b> べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	<b>7</b>	<b>8</b> なんでも人権相談所 (筑後市中央公民館)	<b>9</b>	<b>10</b> なんでも人権相談所 (八女市社会福祉会館)	<b>11</b>
<b>12</b> 八女軽トラ市9:00~12:00 (八女観光物産館駐車場) 羽犬塚恵毘須大祭 (羽犬塚六所宮)	<b>13</b> 成人の日	<b>14</b>	<b>15</b>	<b>16</b> やせ佛様縁日 (八女市大滝行政区) おいしいぜんざいあります	<b>17</b> 定例法律相談会(要予約) 10:00~12:00 (八女商工会議所)☎22-5161	<b>18</b> 人生史サークル黄檭の会 (八女福祉会館)
<b>19</b> 八女筑後看護専門学校 看護科 入学試験 (二次)	<b>20</b> べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円 二十日えびす大祭 (筑後市諏訪神社)	<b>21</b>	<b>22</b>	<b>23</b> 無料弁護士法律相談 13:30~(八女民主商工会) 要予約☎24-2727	<b>24</b>	<b>25</b>
<b>26</b> お風呂の日(特典あります) (グリーンピア八女)(公園の宿) (温泉館きらら)(べんがら村) 八女軽トラ市9:00~12:00 (八女観光物産館駐車場)	<b>27</b>	<b>28</b>	<b>29</b>	<b>30</b>	<b>31</b>	

### クラッシー文芸

#### ■紫苑句会

秋霖や昭和の衣服断捨離す  
 柿の葉の艶めく紅や夕日照る  
 秋出水三連水車の音ひびく  
 畑焼きの煙一筋秋深む  
 大空に子等の声とぶ吊し柿

#### ■ひろかわ俳句会

潔くすぼと抜かるる大根かな  
 命終の一途に這ひし葛の花  
 誰も彼も優しく見ゆる小春かな  
 梵鐘の余韻に浸る秋の暮  
 小春日やまだまだ続く立ち話  
 つわの花お城跡への道しるべ  
 縁先は小春日と猫背伸び  
 小春日も天井眺め日々となり  
 重なりて散りし野牡丹花の墓  
 脚立して木漏れ日の中リンドゴ狩り

#### ■睦会

腹見せて寝そべる犬の小春かな  
 小春日や座椅子にもたれ夢を見る  
 小春日や八女古墳群巡りをり  
 若き日の友と解近紅葉狩  
 秋うらら磐井の声に墳巡る  
 露天湯に眺める煙阿蘇の秋  
 鶴来て庭木も色をもらいけり  
 掘割に漂ふ童謡白秋忌  
 一つぶは紅涙のごと柘榴の実  
 豊穫の舞の境内底冷ゆる

#### ■立花俳句会

鬼の子は時速五センチブロック塀  
 夜神楽を守り継ぐ里冬来たる  
 秋佳き日嫁し五十年や走馬燈  
 寿や即位の礼に秋の虹  
 真知子岩萱に隠れて今や無し  
 見はるかす一面白き芒波  
 銀杏の葉拾えば四季の終り告ぐ

#### ■上陽町陽泉俳句会

紅娘奇生せしまま大根の葉  
 高ければ高き風吹く芒原  
 大根の干されて空の青くなり  
 蚕豆植系畑見廻る老日課  
 石垣に空缶一つ秋夕焼  
 絡み合ひ風に飛び去る散紅葉  
 静かなる櫟林や冬隣り

中川原篤子  
 井上トシ子  
 松延みさと  
 牛島景子  
 堤多鶴子  
 柴田眞理  
 原口あつ美  
 山崎陽子  
 水本辰次  
 水本艶子  
 野中勝美  
 美座時朗  
 松延朝美  
 青木佳代子  
 一瀬砂智子  
 渡辺弘子  
 結束節子  
 酒井司  
 松尾貞義  
 大坪栄子  
 大田眞紗子  
 松尾美喜  
 城戸和子  
 伊藤幸子  
 穴見ミキエ  
 吉泉守峰  
 西島志乃英  
 原宣子  
 三宅清三郎  
 武田行夫  
 中村テルコ  
 深町和子  
 吉泉守峰  
 荒川ミヤ子  
 大坪清香  
 倉下和代  
 中村境子  
 城後正子  
 大坪延子



大学で美術を学んだものの、卒業以来長いこと触れていなかった水彩画道具。九州芸文館の水彩画講座を知り、3年前から再び道具を引っ張り出して、学び直しをしています。忙しく過ぎる毎日の「考える」時間を離れて、「感じる」に浸ることのできる時間を大切に、今後も自分の作品と向き合っていきたいと思っています。



八女市稲富  
松尾 春海

子どもたちのそばに行くと、自分の体がなんだか「ふわっと」なるような感覚になった経験はありませんか。通学路で彼らと出会う時、教師時代のその感覚をよく思い出します。学校で生活をしていると、教室でも廊下でも校庭でも、いつ体の小さな子どもたちとぶつかるかもしれませぬ。

急いでいたり、無警戒だったりすると怪我をさせてしまいますから、自然に教師の体は学校では「ふわっと」なるんです。いつでも、どんな時でも子らを受け止められる、支えられる、危険をかわしてあげられるような体になっているのです。そんな感じは、例えば赤ん坊と一

教師道<sup>みち</sup>

②

森下 計二

緒にいる時の親の、体の不自由な人のサポートをしている人らのものと似ていると思います。小さなお孫さんがいるおじいさん、おばあさんもきつと同じ感覚がわかってもらえるでしょう。

その感覚を、子どもたちの学校の成績とか、習い事の結果や、日々のしぐさに対しても持っていることが大切だと思っています。いつでもどんな場合にも「ふわっと」子どもたちを受け容れてやれるって、かんたんなようで難しいことです。体も心も「ふわっと」なることができる大人にこそ、子どもは安心できる。そんなことを、道端で泣く子にどなっている母親に感じました。



110番を知ろう!

八女警察署からの  
お知らせ



「110番」は事件・事故の緊急通報のための専用ダイヤルです。通報すると、警察本部の通信指令課につながり、直ちに警察官やパトカーがあなたの所に駆けつける仕組みになっています。事件・事故に遭われたり、目撃された時は、「あわてず」「あせらず」110番をして、落ち着いて警察官の質問に教えてください。110番通報でのお願いがあります。去年の110番電話のうち、

「いたずらなどの通報」は約30%  
「相談など緊急の対応を要さない通報」は約12%  
で全体の4割が不要・不急の通報でした。  
このような通報は、緊急の助けを求める通報の障害となり、対応を遅らせる可能性がありますので、急を要しない相談・要望は、  
**相談専用電話「#9110」**  
の他、最寄りの警察署へお電話ください。

周囲の方々にもぜひ110番について  
教えてあげてくださいね!



今月の山柳



風の子も  
老いも  
待ってる  
ほっけんぎょう

正月飾りや書初め等を持ち寄って焼く、ほっけんぎょう。焼きそば等の楽しい振る舞いもあり、地域の方々と子供達との世代間交流が吉田の地に伝統行事として息づいているのは、ありがたい。

八女川柳会 安達 昇

今月の色

常磐色<sup>としまわいろ</sup>

視覚デザイン研究所  
「和の色のものがたり」より



お正月の厳粛さを  
演出する門松

松の葉のように変わることにない緑の美称。永遠不滅不老長寿のシンボルとしての神聖な色。

小さい頃、正月の楽しみは家族揃って母の実家へ出かける初入りでした。ばあちゃん、おばさんたちからお年玉をもらえます。従兄たちも方々から集まります。それぞれが2、3人の子どもを連れてきますから総勢20名近くになります。座敷からごんぜんお縁まで応接台を並べご馳走が山盛りです。盆と正月が毎月交互にくれぱいいと思えました。楽しい時間はアツという間です。翌日は遠くに住む家族から帰り仕度、宴の後のさみしさは子どもにも伝わります。急に残り少なくなつた冬休みのことが心配になりました。

八女茶で健康 第53回  
1gでおいしいお茶を楽しむ

高級茶は価格が高いため、なかなか楽しむ機会が少ないと感じる方もおられると思います。ところが世間は広いもので、5万円/100gのお茶を無料で試飲させ販売する人がおられます。私は令和元年11月7日～10日まで静岡市で開催された世界お茶まつりに出席しました。会場のお茶試飲販売コーナーに黒山の人だかりが出来ていましたので覗いてみると、静岡県浜松市天竜の太田さんがおられました。私も試飲させて頂こうと順番を待っていました。じっと観察しているとしきりにお客さんが感動し、感心しておられます。お茶も良く売っていました。県茶連では八女の関係機関や茶業青年の会員の視察先を太田さんをお願いしていますので、席についてすぐお礼を申し上げました。しかし、1gで高級茶を飲むのは、私にとって初めての体験でした。飲み方の秘訣は皿状の急須にあります。ざらざらした手触りの「七徳茶皿」(ななとくささら)をご自身で開発されました。この皿は中央に窪みがあり、そこへ1gのお茶を乗せ、お湯を注ぎます。お湯は窪みを満たすとちょうど良い量になるように工夫されています。高級茶の葉が眩しい緑できれいに開いていきます。あたりは、お茶の良い香りです。しばらくして小さな茶碗に皿を傾けて茶を注ぎます。90度に傾けても、皿のざらざらした表面と絶妙の窪みでお茶はずり落ちません。飲んでみると素晴らしい感動がありました。一緒にいた方々も笑顔で「すご〜い」と言われていました。さらに太田さんのお茶に対する熱い語りがこの感動を盛り上げます。私たちは太田さんの苦労話を伺い、こんな貴重なお茶をタダで飲むわけにもいかず、自然とお茶とお皿を買うようになるのです。1袋2gと3gの2種類おいてあり、それぞれ1000円と1500円です。お皿は一つ1500円です。



約1gの茶葉



皿が急須の役割

高級茶は八女茶の代名詞ですが、超高級になると地元消費は少ないと言われています。お皿は、とりあえず県茶連がPR用に数十枚注文しています。今後、八女茶のPRに役立てたいと思っています。

福岡県茶生産組合連合会事務局長 仁田原 寿一

宮崎宮神苑花庭園  
冬ぼたんのご案内

開苑期間 令和2年1月1日(水)～2月29日(土)  
※期間中は毎日開苑いたします  
開苑時間 平日・土・日/9時30分～16時30分  
入苑料 500円(父兄同伴の場合、中学生以下無料)

ペア10組様へ入苑券をプレゼント。希望の方はハガキに花まつりと明記の上、株式会社東兄弟迄。チケットの発送をもって発表とします。応募締め切りは1月10日。





筑後市西牟田  
重富 緑

毎月第一、第三金曜日、サンコアの教室で、友人と明るい話し声と笑顔で集まり、楽しい時間が始まります。道端の草花や庭先の花に自然を感じ季節を感じながら画材とにらめっこしながら描いています。思う様に描けない時は、大坪先生のアドバイスを受け、先生の一笔で生き生きとした作品になります。自分の作品が生まれ変わり喜び一杯になります。今年も暑中見舞状にして友人に送り友好を深めています。公民館活動の絵手紙教室にも参加しサンコアと同様におしゃべりと共に皆さんとのふれあいを楽しく過ごしています。健康のために笑い、大いに学び、これからの人生に筆を持ち続けていきたいと思えます。

今年も暑中見舞状にして友人に送り友好を深めています。公民館活動の絵手紙教室にも参加しサンコアと同様におしゃべりと共に皆さんとのふれあいを楽しく過ごしています。健康のために笑い、大いに学び、これからの人生に筆を持ち続けていきたいと思えます。

シネマ今昔物語 ②

「フォードVSフェラーリ」の巻



1月10日から「フォードVSフェラーリ」が公開されます。ル・マン二十四時間耐久レースで、絶対王者のフェラーリにフォードが挑むというお話です。スピードにかけて

は無敵を誇るフェラーリは、当時、この無謀な挑戦について、「大衆車メーカーが我々に勝てるはずが無い」と馬鹿にしておりましたが、フォードのエンジニア、キャロル・シェルビーとレーサーのケン・マイルズは社運を賭けた戦いに挑みます。二人に扮するのはマット・デイモンとクリスチャン・ベールです。どちらも現在、脂の乗り切った名優です。レースを題材とした映画は、三船敏郎をはじめオールスターキャストの「グランプリ」、スティーブ・マックイーンの「栄光のルマン」、ポール・ニューマンの「レーサー」等、往年は二枚目俳優に付きもので、盛んに作られておりましたが、最近では「ワイルドスピード」シリーズぐらいいか目にしません。このシリーズも近作ではアクションに重きを置いており、レースは添え物扱いになってきました。レースを正面から描いた作品は七年前の「ラッシュ/プライドと友情」以来です。今作は事実に基づいた作品で、限られた時間と資金の中、数々の困難を乗り越えていく熱い男達の姿が描かれています。大迫力のレースシーンを、劇場の大画面でぜひご覧ください。(R)

健康万歳 ④ 運転免許証は認知症防止のお守り

最近高齢者の運転事故に批判の目が向けられ返納する人が多い。タクシー券6万円が貰えるそうだ。

高齢者では認知能力が低下し若い人に比べると高血圧や心臓疾患の人が多いは確かだが、それが事故発生に繋がる確証はなく20代と70歳以上の高齢者の事故発生率は大して違いがない。認知症が原因で起こす事故は、高齢者事故の5%ほどに過ぎない。

返納した人を見ていると急に元気を無くし行動半径も狭くなり閉じこもりの原因にもなる。運転を止めると認知症の発症率が上がると言われるが確かなようだ。

私の亡父は80歳になって免許更新の際に随分悩んでいたが、私たち周から「止めたがよい」の一言で諦めてしまい、その後閉じこもりの原因を作ってしまった。毎日マイカーを運転し近くのストアに出掛けて好きなものを買、手作りの料理で母と水入らずの食事を楽しんでいたのに可哀想なことをしたと今になって後悔している。

あれから30年経ち高齢社会の様相は大きく変わった。高齢者の高速道路逆走、派手な衝突事故などマスコミは騒ぎ立てるが、これはニュース性があるだけで若者の事故の方が遥かに多い。法定速度で走っているのに後ろから煽ったり、クラクションを鳴らしたり騒がしい。これでは事故が起こって当然。

私も遠出をするときは公共の乗り物を利用するので慣れた近場を運転するだけだが、運転技術だけはまだまだ若い者には負けなつもりでいる。免許を取って60年無事故運転の誇りもある。幾ら不経済だと言われても娘たちが気遣っても返納する気はない。

知人のTさんが「先生免許は返納したらイカン、もっとならだけでヨカ。体の一部が持っていかれたゴタル」としみじみ言っていたが彼の年齢は91歳。

自動車業界は競って無人車の開発に乗り出し公道を走るのも間近い。その時免許証を持っていないと乗れない。クルマは余生を楽しむ終生の友で、これからも大事に付き合っていきたいと思っている。

林 栄一 (医師・立花町)

健康よもやま話 ③



姫野病院：松浦 緑郎

(健康管理士一般指導員)

●引きこもりはボケの始まり

脳を活性化させるためには、もちろん栄養は大切ですが、食べ物だけでは十分ではありません。なによりも生活習慣が大事であり、これには次の3つの方法があります。

まず第一に、体を動かすことです。

これは運動をして筋肉を鍛えるのではなく脳を活性化しようというのですから、激しく運動することよりも楽しく体を動かすということが大事です。特に、編み物やガーデニングなど、指を動かす動作が効果的とされています。

また歩くことも効果的です。松尾芭蕉は日本各地を歩いて有名な俳句を残していますが、歩くことは筋肉を使うと同時に五感を刺激する要素が多くあります。歩くということは脳にとっても良い刺激になると思って、できるだけ歩くようにしましょう。

第二は、刺激ある環境にということです。

動物を遊び道具の多い環境で生活をさせると脳細胞が増えることが知られています。人間の場合も仲間と一緒に歌を歌ったり、山歩きをしたりといった刺激ある生活をしていると認知症になりにくいことがわかっています。

サラリーマンは定年になると、なかなか外に出たがりません。奥さんは長い間に作りあげた人間関係で食事や旅行を楽しむ人が多いようですが、男性は不得手です。「引きこもりはボケの始まり」ということをよく覚えておいてください。

第三は、楽しく頭を使うことです。

最近では、どのような脳の使い方が脳細胞の活性化によいのか調べられています。趣味としては囲碁、将棋、麻雀などといったような楽しい頭の使い方がよい、とされています。また、クロスワードパズルや合唱の曲と歌詞を覚えるなどというのもよいでしょう。

この他、生きがいのある生活をすることや、ストレスを避けるようなものの考え方をすることなどもとても大事です。



呟き

令和に思う

「こんなにでかいアナログテレビが家にいるのは恥ずかしい」  
そう言つて、23歳になる息子が友達から地デジテレビを譲ってもらつてきた。世の中が地デジになってからも、チューナーを繋いで観ていた奥行き幅のあるアナログテレビをどう捨てることになった。

息子はこのアナログテレビと共に育つた。初めてのつたい歩きも自分よりも大きなこのテレビをつたつた。ベタベタと画面が息子のヨダレだらけになったこともある。画面下のビデオデッキには息子が2歳の時にスプーンを入れてしまひ修理したこともある。保育園の時には兄妹でテレビの前で『しまじろ』を歌い踊つていた。たぐさんの思い出がいっぱい詰まつたテレビ。まだまだ観られるのに、どこも壊れていないのに、時代の流れによつて捨てられていく。廃品回収業者を持って行かれる日、胸の奥がキーンと傷んだ。

新しい地デジテレビをつける時、これまでにない画像の鮮明さ。場所をとらない薄さ。こうやって家電は時代と共に変わっていく。仕方ないことなのだと心に言い聞かせる。私自身もそう。振り返ればこの一年、目標と祈りを持って突っ走つてきたけれど、叶わないこと、思い通りに達成しないことがたくさんあった。残念で寂しくて不安で……。そんな自分こそ、過ぎたことに囚われず新しい気持ちに切り替えて時代になつて変わつていかなければならないのかもしれない。  
令和になつて初めてのお正月。未来に心に向けてスタートしたい。  
森 志穂



八女市吉田  
橋爪 紀子

退職後の楽しみにと水墨画を始めて十数年になります。初めは何を描いても哀れな作品ばかりでしたが、六年目頃から調墨のコツが少しずつ分かるようになってきました。

九年前、中島先生の勧めで初めて八女市展に応募し入賞した頃から、墨の香りに包まれて静かに筆を取る時間がとても貴重に思えるようになりまし。

### 「クリスマスケーキ講習会」

八女農業高等学校

八女農業高校では社会人の方に来ていただいて、プロの技術を教えてもらうという授業を行っております。今回は八女市津江にある「お菓子作り教室」の牛嶋頼依子先生を招いて、生活科学科3年「調理」選択者19名を対象に、お菓子作り講習会を行いました。

今回はクリスマスケーキを作りました。スポンジケーキを1人1台ずつ焼き、フルーツやお菓子を生徒それぞれが考えて準備し、デコレーションしていきました。スパチュラというクリーム用のナイフで塗るとき、クリームをまっすぐにするのが難しかったようです。

牛嶋先生から「短時間でしたが、あわただしくも何とか作り上げました。次に作る時には、本日学んだ、生クリームの使い方、スポンジのカットの仕方を思い出してください。それぞれ力作ぞろいでした」という言葉もいただきました。



出来上がったケーキは箱に入れ、それぞれの自宅に持ち帰り、家族で楽しめます。

#### 1月の校内販売所(八女農みらい館)の開館日

1月 7日(火)、1月10日(金)、1月14日(火)、1月17日(金)、1月21日(火)、1月24日(金)、1月28日(火)、1月31日(金)  
販売時間は、10時30分～12時30分です。  
多くの皆様のお越しを心からお待ちしております。

### 今の一冊



(A5判109頁)  
¥1,000(送料込)

人は悲しみに打ちひしがれた時どうしたら再起できるか。この本を出した渡辺義幸さん(83歳)は最愛の息子幸一君を不慮の自宅火災で亡くした。一時は茫然自失、奥さんと涙するだけの日々だったという。半年ほど経った頃、残された僅かな思い出の写真や遺品を整理しながら、それらを一冊の本にまとめることを思い立ち、生きる一筋の明かりを見出した。

結婚12年目60歳にして初めて授かった宝が、友人たちと成人式を祝った8日後に旅立った。前途洋々、大きな可能性を秘めた青年が生まれた20年の証である。上陽町で生まれ育った幸一君は、多くの友人たちに恵まれ伸び伸びと育ち、高校では文芸部に所属し、大学では吹奏楽部に入学した。テナーサックスを担当、大学生活を謳歌していた。本にはサークルの演奏会の写真や高校文芸部時代の作品の一部も収録されている。

この本を手にとってもう一人がいる。幸一はどこかで生き続けている姿を、息子に重ねて夢を持つことができるかと結ばれている。1月23日には3回忌を迎える。ご希望の方は  
渡辺義幸さん  
☎0901250017789

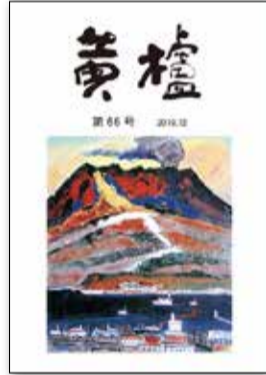
### ◆1月のイベント案内◆

- 筑後市立図書館 ☎0942-51-7200
  - 毎週土曜日おはなし会 11:00～ 幼児から小学生対象  
1月4日は休館日
  - 新春特別企画! 「福引付き本の福袋」  
大人用と子ども用があります。福袋を持ってカウンターで貸出手続きをしてください。  
設置期間 1月5日～1月26日  
福引引換期間 1月28日～2月11日
- 1月23日(木) 9:30～ ゆっくり読書タイム 要予約  
託児申込・未就学児まで
- ブックリサイクルWITH絵本の譲渡会 1月30日～2月2日
- 広川町立図書館 ☎0943-32-1163
  - 定例お話会 1月11日・1月19日 10:30～
  - かっちゃんこ 1月15日 11:00～  
絵本コンシェルジュによる赤ちゃんと保護者への読み聞かせ

### 新刊本 ご紹介



¥550(税込)



送料各120円 ¥1,000(税込)

年賀本には安部龍太郎氏が「青春の日々」、麻生渡氏が「美しい雅子皇后陛下」と題して特別寄稿されています。  
黄檗66号には90歳越えの会員さん4名をはじめ34名の原稿が収録されています。心と時間にちょっと余裕ができた時に読んで頂きたい1冊です。

ご希望の方は 人生史サークル 黄檗の会 事務局 東迄 ☎0943-24-2111

### クラッシー文芸

- 筑後俳句会  
名を呼べは隠るるインコ冬隣  
海近き駅舎に集ふ帰燕かな  
席埋まる程の芝居や村祭  
除草削逃れて石路の花明り  
秋麗や白寿の舞に惹き込まれ  
ゆるゆると今日一を穴まどひ  
一村を燦らせ豊の田を仕舞ふ  
学童の人形浄瑠璃文化の日  
白谷きよみ 平昌恵 辻八重子 永田富子 植生洋美 水本辰次 水本艶子 浅田つき子
- 黒木町くすの実句会  
一強の国が殖えゆく冬が来る  
夢断たる医師の棺や虎落笛  
少女期はないないづくしふかし芋  
青木早弓 寺田睦子 吉泉守峰
- 立花短歌会  
紙門松毎年市より届けられ  
とりあえずお湯わかすなり冬厨  
旧姓の人と逢ひけり冬銀座  
春待たず他国に散りし医師の神  
松尾アサ子 松尾満留美 栗山豊秋 東野蓉子
- 街路樹にマロニエのあるフランスよ友と歩いた研修の旅 鶴隆治郎  
柵破り進入したる猪の仕業収穫時のキウイの惨事 橋本泰州  
取り入れも終わりにて友と湯の宿に疲れやすらぐ旅のひとつ 松尾ミサキ  
遥か洋上サイパン・ゴムに手を合わす豪州の旅帰国の機内 井上精  
この夏に我が家を巣だつたつばくらめ長い旅路は南の国か 田中たつじ  
旅先の層雲峡の初雪に杖にすがりて歩きたる事 中島睦美  
友三組炭酸水汲む小旅行九重の山は秋の入口 野中裕政  
生前の夫と旅した土地へ行く月日過ぎれば旅愁覚える 鶴邦子  
新聞にツアー旅行のチラシあり行けなくもなし 櫻木敦子  
孫と行く短い旅の新幹線あつという間に着く目的地 樋口愛子